

猫の飲水療法について

Feline drinking water therapy

小宮山典寛

Norihiro KOMIYAMA

三鷹獣医科グループ

Mitaka Veterinary Medical Group

猫の生命の営みには特に水の代謝が不可欠で、猫の病気の 70% 以上は脱水に関係した病気と考えられています。水は体内に取り入れた栄養を全身へ運び消化を助け、さらに酵素を働き易くさせる役割を担います。猫に如何に水を飲んでもらうか、ここに 30 のヒントを列挙しました。

- 1) 多頭飼いの場合は水の容器を頭数より多くし、あちこちに置く。※寝床と食事場所への設置が必須。
- 2) 高齢の猫には容器を床に置かずに台等を置いて高くする。(前肢の肘や首を曲げると痛がる猫がいる)
- 3) 水にブイヨンや少量の海老等を入れ風味を変えて与える。(鶏や魚の煮汁を水に加えることもできる)
- 4) 時々であればスポーツドリンクを 5-6 倍に水で薄めて与えるとより飲むこともある。
- 5) 猫とコミュニケーションをとりながら、直接容器を口もとに運んで飲ませる。
- 6) 様々な形の容器を用意する。特に浅いお皿が望ましい。(浅いお皿は猫の髭が当たらないので飲みやすい)
- 7) 容器のいろいろなサイズや形によっても興味を持ち飲むことがある。浅いお皿タイプが良い。
- 8) 特に嫌がることがなければ、一時間毎に 2-3ml の水を注射器 (スポイト等) で与える。
- 9) 循環式流水器を利用すると、猫は近寄り舐めることがある。(本能的に動くものに興味あり)
- 10) 猫の飲水前後にマッサージ (運動の代わり) をいやがらない程度に行う。
- 11) 常温ではなく、ぬるま湯を与える。ただし体温以上にはしない。(少し温めると味がまるやかに)
- 12) 風味付きアイスキューブを作成する、例えば肉を煮沸して凍結させる。(風味が増す)
- 13) いつでも水を飲めるように、各水飲み場には明りが必要。(夜間はセンサー付きのライトを使用)
- 14) 夏の時期には、おやつ代わりに少量の水を与えると、舐めることがある。(食間に与える)
- 15) 与える前に水をカクテルの様によく振ってから与えると飲む可能性あり。(水の粒子が細くなる)
- 16) 与える食事にスプーン 5-8 杯の水やぬるま湯をかけて、水分量を多くして与える。
- 17) 水を与える容器は、清潔に保つ。特に底の部分に眼に見えない滑りが、存在することがあり。
- 18) プラスチック容器は避けて、ステンレス、ガラス、セラミック製の容器で与える。
- 19) 容器もステンレス、ガラス、セラミック (陶磁器) 等、材質による好みがある。(容器の素材によって温度や風味が違う、木製の素材等、いろいろ試す)
- 20) セラミック (陶磁器) 容器に入れ、ある程度の時間を置いた水はより好む場合がある。(陶磁器には、微小の穴があり、蒸発すると気化熱で冷える)
- 21) もし可能なら、ポタポタと水が出ている蛇口に猫を抱いて近づけ、風呂場で水鉄砲を猫に当た

- らない程度で水を出すと飲むことある。
- 22) 缶詰フードに、少し水を含ませると食事と共に水分補給できる。(水にフードを入れ飲ますのとは逆)
- 23) 猫は安全で静かな環境での飲水を好む傾向がある。(例えば背後に別の猫がいるなどの環境では飲むのをやめることがある)
- 24) 猫の水飲み場とトイレが近いと、猫はその近くの水を飲まない傾向にある。(猫は清潔好きが多く、近くに悪臭のある場所は好まない)
- 25) 食事の食器と水の容器が近すぎると猫はあまり水を飲まない傾向にある。(食事の場所、水飲みの場所、トイレの場所は離れた三角形の領域が望ましい)
- 26) 猫の好みも個体差があるので、水の種類を色々変えて投与してみる。(水道水、ボトルの水、地下深層水、水素水、ミネラルウォーター等から選択)
- 27) 水道水の場合は、沸騰させ重湯(白湯)して与えると飲むこともある。(やかんの蓋を開けて30分間以上沸騰、その後10℃～15℃で与える)
- 28) 水の容器に氷の欠片を入れ水に浮かせると動くので興味を持ち飲むことある。(猫は流水を好む傾向があるので、これもこの原理を利用したもの)
- 29) 水道水の場合は脱塩素(浄水器を使用、又はガーゼにミカン大の木炭を包み、500ml ぐらいの水に7-8時間浸す)すると、猫はより水をよく飲む。これは特に子猫においてその傾向が強い。
- 30) 殺菌処置をしていない、弱アルカリ性の水は、一般的に猫がよく飲む水である。